

ボランティアを募集したいけど、どうしたらいいのかわからない。また、募集しているがなかなか集まらない。そんな悩みを持つ団体向けにボランティア受け入れの流れやポイントをまとめました。

受け入れ前にはまず **ボランティア**を知ろう!

ボランティアという言葉の意味

ボランティア(volunteer)の語源であるラテン語の「volo」(ウォロ)には「自分から進んで～する」「喜んで～する」という意味があります。「誰かの役に立ちたい!」

「自分の得意なことを役立てたい!」といった意志をもって活動するのがボランティアです。

ボランティアの特性

ボランティアは、団体の目的に共感しその実現のために一緒に考え、活動する対等な仲間です。



1 自発性・主体性

「義務」や「強制」ではなく自らの意志で取り組む活動

2 社会性・連帯性

お互いに支え合いよりよい社会をつくる活動

3 無償性・無給性

報酬を求めるのではなく、出会いや「誰かのためになった」などの精神的な充実感が得られる活動

4 創造性・先駆性

自由な発想・アイデアを大切に方法やしぐみを考え、創り出していく活動

ボランティア受け入れの **5つのステップ**

STEP 1 団体内で話し合い計画を立てよう

ボランティアが必要な理由・役割などを団体内で話し合い、明確にしたうえでプログラムを決定し、団体内で共有しておきましょう。

1 活動の目的

2 活動内容

3 活動の対象

4 活動日時

5 活動場所

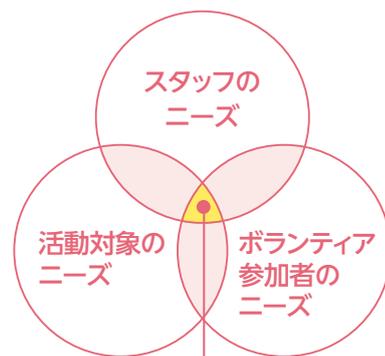
6 活動の魅力

※参加者が得られるもの

紙に書き出して、理由や役割を整理しておくと、団体内での話し合いが深まりますよ!



プログラムを構築する時はここに注意!



どれかに偏るのではなく、そのニーズが重なるようにプログラムを構築しましょう。

STEP 2

募集をしよう

チラシやSNSなど募集のアプローチ方法はさまざま。求めている人材のライフスタイルに合わせた媒体で行うと効率的です。団体メンバーからの声がけや口コ

ミで参加する人も多いので、日頃の活動やイベントなどでボランティア募集の話をするなど、種まき活動をしておくと応募につながりやすくなります。

ここで情報掲載ができます!

チラシ
で募集

たがさぼ掲示板

※スタッフにお問い合わせください

たがさぼには、ボランティアに興味のある方も来館しますので効果的です。



ネット
で募集

みやぎNPO情報ネット



仙台市ボランティアセンター
(仙台市社会福祉協議会内)



STEP 3

事前準備をしよう

受け入れの時に必要な書類の準備(※1)や、参加者向けの面談などの準備も行いましょう。専門的な内容の際は研修が必要な場合もあります。

活動内容が思っていたものと違う、という行き違いが起きるのを防ぐために活動の目的や内容、ルールなどをお互いに確認した上で活動に参加してもらいましょう。

※1:受け入れのための書類(例)

- 登録用紙
(氏名・連絡先などの基礎情報)
- 活動プログラム
- 誓約書
(活動中に知った個人情報などを口外しないなど注意事項を確認し合いましょう)

書類の他にも担当を配置する、万が一のことを考えボランティア保険の加入もしておくとよいですね。



STEP 4

受け入れ当日。活動中にコミュニケーションをとろう

参加者の経験や能力を生かせるよう、あたたかく迎えましょう。また活動中も不安や疑問に思っていることが話しやすくなるよう、積極的に声をかけることも大切です。



STEP 5

終了後は、感謝の気持ちを伝えよう

ボランティアの存在を当たり前と思わず、感謝の気持ちを伝えましょう。どんなことで役に立ったのか具体的に言葉で伝えることで、次の活動への励みにもなります。活動をブログで紹介、「Thank youカード」で感謝の気持ちを伝えるなど、方法を工夫してみましょう。

SNSでボランティアの活動を楽しく報告しています。活動を応援してくれる人から「ありがとう!」の声や応援メッセージが届きます。
(団体代表・Kさん)



こんなメリットも!

ボランティアへの参加をきっかけに団体の目指すところや活動への理解が深まり、団体のことが地域に広がることにもつながります。

多賀城市市民活動サポートセンター

たがさぼ



〒985-0873 多賀城市中央2-25-3

TEL:022-368-7745

FAX:022-309-3706

E-mail:tagajo@sapo-sen.jp

HP



ブログ



ツイッターもやってます!



@tagasapo